

日本スポーツ整形外科学会誌（スポ整会誌）

学術集会発表論文投稿原稿作成要領

学術集会発表論文は、原著論文形式で投稿する場合を除いて全員投稿することを原則とする。
また、内容に関しては、学術集会発表内容に加え、学術集会での議論をよく踏まえた上で原稿を作成すること。

本誌に掲載する学術集会発表論文は1論文2ページ（ただし1ページを超えること）とするため、規定の原稿文字数を厳守し、別紙例文を参考にして、下記のことに留意し原稿を作成すること。

記

1. 投稿資格

著者・共著者は、日本スポーツ整形外科学会の会員に限る。

臨時会員は当該年度の学術集会発表論文の著者・共著者になることができる。

2. 投稿期日

論文提出は学会終了後の電子投稿受付開始日より1か月以内にユーザー登録のうえ電子投稿すること（初回は全員がユーザー登録 する必要がある）。

3. 投稿方法

投稿は原則として、専用サイトからの電子投稿に限り、「利益相反自己申告書」、「二重投稿に関する誓約書・著作権に関する同意書」（いずれの書式も学会ホームページよりダウンロード）は、必ず著者全員が自署したものを同時に提出することを必要とする。形式は、MS-WORD ファイルの添付に限る。ファイル名は「自身の論文タイトル名」とする。

4. 体 裁

①A4 用紙（40 字×35 行）を横書きで使用する。

②表紙は、和文の表題、英文の表題、和文著者名、英文所属機関名、key word 3 語（英語）、連絡先を記載する。表題 27 字×2 行（54 字）まで使用することができる。副題を付けたい場合は、主表題を 27 字以内にとどめた上、副題を 2 行目に 35 字以内に収まるよう（小さい文字を使用）にすること。すなわち、主表題と副題がそれぞれ1行ずつになるようにすること。

5. 本 文

①本文、文献、図・表（説明文を含む）合わせて 3,500 字以内に収めること（一論文につき、図 1 枚、表 1 枚までが望ましい）。

図表を文字数換算する際は、図表とも1枚につき組みあがり後のレイアウトでページの横幅半分以内で納まる小サイズのものを400字、ページの横幅半分以上要する大サイズを800字と換算する。規定字数を超える場合は、原著論文として取り扱う。

例）大サイズの表1つ、小サイズのシェーマ1つの場合、800+400で1,200文字と換算されるため、本文・文献は2,300文字までとなる。

②常用漢字、新仮名使いを使用し、学術用語は医学用語辞典（日本医学会編）、整形外科学用語集（日本整形外科学会編）及びその他の学会編集の用語集に従う。

③数字は算用数字（1、2、3・・・）を使用するが、成語はそのまま記載する（例：一般、同一）。

- ④単位符号は CGS 単位を用い、単位符号の後ろに省略記号（.）をつけない。
- ⑤日本語になる欧語（例：ligament）はなるべく日本語を使い、人名はカナ書きを避け原語で記載する（例：Wrisberg 靱帯、Hoffa 病）。また、文頭と固有名詞以外の欧語は全て小文字とする。

6. 図 表

- ①図・表は、原則として横 8.0cm（片側半分の場合）または 17.0cm（両側にわたる場合）以内とする。
- ②図・表は鮮明なもの（文字が著しく小さくならないよう縮小率に注意すること）を使用する。
- ③図（写真も含む）は提出されたものをそのまま使用できるように、図中の矢印や文字など完成された状態で、図番号は図の下部分に明記すること。
- ④図・表のタイトル・説明文は別紙に文字原稿として番号順にまとめて書き、文献の次に添付する。

7. 引用文献

日本スポーツ整形外科学会誌「原著論文投稿規定」に従い、4 篇以内とする。

また、文献の記載は下記の例に従う（JOS に準ずる）。なお記載する著者の数は 4 名以上の場合は 3 名までを連記し、あとは「ほか」「et al」と記載する。

<雑誌> 著者名. 表題. 誌名 発行年; 巻数: 頁.

例) 渡辺正毅. 関節鏡の使い方と見方. 関節鏡 1978; 3: 73-76.

Slocum DB, James SL, Larson RI, et al. Clinical test for anterolateral instability of the knee. Clin Orthop 1976; 118: 63-69.

雑誌略称は Index Medicus に準ずる。Proceeding または学会抄録は表題の頁のみ記載する。Inpress の文献は原則として引用しない。

<単行書> 著者名. 表題. 編者. 書名. 版. 発行地: 発行者(社); 発行年. 引用頁.

例) Watanabe M, Takada S, Ikeuchi H, et al. Atlas of Arthroscopy. 3rd ed. Tokyo: IgakuShoin; 1978. 56-71.

例) 富士川恭輔. 膝関節の発生. 富士川恭輔編. 膝の臨床. 初版. 東京: メジカルビュー社; 1999. 2-5.

8. 査読、著者校正

学術集会発表論文形式での投稿論文は、査読はない。著者校正は原則として 1 回のみとし、メールにて案内するオンライン校正のみとする。投稿する際には、著者自身で文字や数値には十分注意すること。

9. 著作権

日本スポーツ整形外科学会誌掲載後の著作権は、本学会に帰属し、掲載後の再投稿、他誌への転載は編集委員会の許可を要する。他誌・他書からの図・表の引用に関しては、著者は事前に一次掲載元へ転載許諾申請をし、許可書を投稿時に添付すること。日本スポーツ整形外科学会誌及び日本整形外科学会誌、日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会誌からの論文掲載の際は、「〇〇より引用」などと引用元を明記すること。

10. プライバシー保護

臨床研究はヘルシンキ宣言に、動物実験は各施設の規定に、それぞれ沿ったものとする。

患者の名前、イニシャル、病院での ID 番号など、患者個人の特定可能な情報を記載してはならない。投稿に際しては「症例報告を含む医学論文及び学会研究会発表における患者プライバシー保

護に関する指針（外科関連学会協議会：平成 16 年 4 月 6 日）」

https://jp.jssoc.or.jp/modules/aboutus/index.php?content_id=44 を遵守すること。

11. 利益相反の開示

日本スポーツ整形外科学会誌は、寄稿される論文の内容に影響を及ぼしうる資金提供、雇用関係、その他個人的な関係を明示するよう求める。特に研究に対して受けた営利企業、各種団体からの支援（金銭、物品、無形の便宜を含む）を開示することが必要である。研究内容に関わる場合は具体的に支援内容（資金、物品、人的提供、測定など便宜供与の実態）を記載する必要がある。

12. 二重投稿

本学会では、本要領が適用される「学会発表論文（2 ページ掲載）」は、proceeding と位置づけしているため、他誌に掲載済みまたは掲載予定の論文の内容が含まれていても二重投稿とは判断しない。

13. その他

原稿作成に必要な事項については、この要領に定めるもののほか、本誌「原著論文投稿規定」によるものとする。不明な点は、本学会事務局に問い合わせること。

日本スポーツ整形外科学会誌 編集事務局

〒101-0065 東京都千代田区西神田 3-2-1 住友不動産千代田ファーストビル南館 14 階

三美印刷株式会社内

TEL: 03-6807-8116 FAX: 050-3134-7643 E-mail: jsoa-journal@sanbi.co.jp

一般社団法人日本スポーツ整形外科学会（JSOA）事務局

〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-10-5 オンワードパークビルディング株式会社コングレ内

TEL: 03-3510-3744 FAX: 03-3510-3748 E-mail: info@jsoa.jp

以上

2023 年 12 月 7 日適用

2024 年 1 月 18 日改訂